

2017 年度 移民政策学会年次大会

ミニシンポジウム企画の背景・趣旨

本ミニシンポジウムでは、2016 年 12 月に成立、施行された「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の確保等に関する法律（学びの場の確保法案）」の内容を踏まえつつ、当事者の現場である夜間中学で、長い間ロビー活動をしてきた元夜間中学教員、識字の問題等に関して詳しい社会教育の専門家及び移民政策の専門家、この法案の策定に尽力した関係者（行政担当官）、そして子どもの人権や学習権に詳しい法曹関係者（弁護士）、そしてこれらの識字の教育・学習支援や関連した移民政策、言語政策等に関する海外の事情に詳しい研究者による報告やディスカッションを行う。

そして会場の参加者との意見交換等も行い、最終的には、夜間中学、形式卒業（低学力）、リテラシー、貧困などをめぐる現状と課題について、基礎教育を保障する社会の構築に向けて、会員間において認識を深めることを目指したい。